

令和元年第14回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日： 令和元年9月25日（水） 於：第1委員会室

II 開会時間： 15時30分

閉会時間： 17時00分

III 出席委員： 教育長 石川 雅史 教育長職務代理者 野田 洋二
委員 大川 佳郎 委員 妹尾 恵美
委員 加藤 正枝

IV 欠席委員： 一

V 出席者氏名： 教育次長 藤原 敬一 教育総務課長 三ノ上 創
学校教育課長 住田 義広 就学前教育課長 牧野 真哉
社会教育課長 三宅 忍 教育サポートセンター事務長 妹尾 均
(書記) 山内 祐樹

VI 会議内容：

1. 開 会

2. 前回会議録の承認

令和元年第13回教育委員会会議（R1.8.27）の議決事項等について

教育長報告：なし

議 事：なし

協 議：玉野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額
等に関する条例等の一部を改正する条例について

そ の 他：令和元年 9月補正予算の概要について

他1件

(承認)

3. 教育長の報告

(1) 令和元年9月定例市議会一般質問項目について

(石川教育長) 資料により説明。

4. 議 事

(1) 議案第31号 玉野市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について

(就学前教育課長) 資料により説明。

(2) 議案第32号 玉野市立幼稚園一時預かり保育事業実施要綱の一部を改正する要綱について

(就学前教育課長) 資料により説明。

(大川委員) 利用料の納入方法に指定はあるか。

(就学前教育課長) 現金で、一か月分を翌月に支払ってもらう。一時預かりは従来から現金でいただいている。

(3) 議案第33号 東京2020オリンピック聖火リレー 聖火ランナーの選考について

(社会教育課長) 資料により説明。

5. 協 議

(1) 「平成30年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書」(初稿)について

(各課長) 資料により説明。

本日出た意見を反映し、有識者の意見書を加えた第3稿を再度ご確認いただき、11月中に議会に提出する予定だ。

(野田委員) (P13)「放課後児童クラブと地域子ども楽級との連携のあり方が課題」とあるが、どのようになればよいのか。

(社会教育課長) 土曜日に実施している子ども楽級のプログラムを平日の放課後児童クラブで実施できれば、というものだ。

(野田委員) 子ども楽級は何度か見学したが、指導者が異なり、人数も増えるとなると、物理的に難しいのではないか。

(石川教育長) プログラムの形で支援できれば学童も充実すると思うが、学童の先生が直接実施することになるとなかなか難しい。

(妹尾事務長) 築港小学校は、昨年まで学童がそのまま子ども楽級に入る仕組みで行っていたが、希望しない子ども子ども楽級の活動をするようになる。メリット、デメリットがあると感じる。

- (野田委員) (P14)地域学校協働本部事業はA評価でも良いと思うが。
(石川教育長) A評価については、実施レベルが高い、前年から伸びているなどが基準と考えている。何等かの根拠が必要と思う。
- (野田委員) 4段階の評価方法は法で規定されているか。
(石川教育長) 規定はされていない。一般的にこのような形を取る自治体が多い。
- (大川委員) 決算額の欄に国県の補助金額も併記すべきではないか。また、費用対効果の面で客観的な記述があればよいと思う。
(石川教育長) 市の施策目標の数値を達成しているなどあれば、記述すればよいと思う。
(P13)子ども楽級は、昨年は大臣表彰を受けたことを根拠にAにしたが、何もなければBかなという印象だ。
(P17)放課後児童クラブも、根拠が無ければBでよいのでは。
(P19)一時預かりは、単に利用者数だけを見れば減っているところが多い。Aとする根拠が欲しい。
- (野田委員) (P20)スクールカウンセラーを配置している小学校の計が11に
しかならないが、あと3校はどうなっているか。
(学校教育課長) 正職員3名が担当している。この事業では11名を配置している
ということだ。
- (野田委員) (P22)教育支援室の成果に、「延べ2,612回実施」とあるが、何
人で対応しているか。
(学校教育課長) 正職2名と臨時1名の3名体制だ。フル稼働の状態であり、来
年度は人員増の要望を考えていかなければならない。
- (野田委員) (P27)ユニバーサルデザインの成果に、「実践力の向上を図ること
ができた。定着は図られている」とある。なのにBか。
(学校教育課長) 意識としての定着はできているが、急激な人事異動が毎年
のように続く。昨年度もBとしたが、新しく入った人はまだまだど
う状況が続いている。
- (石川教育長) (P30)市立高校魅力づくりは、在り方検討会議を頑張っていた。
来年はAでもよいと思う。
(P31)競技スポーツ振興は、何をもって評価するかが難しいところだ。
施策目標は何か。
(学校教育課長) 制度周知により努力を促すという意図ではあるが、新聞掲載等
により、子どもたちの活躍を知らしめる側面が大きいと思う。
(石川教育長) であれば、昨年より件数が増えているのであれば、それをもっ
てAとしてもよいと思う。

- (野田委員) (P36) こども 110 番の家が 471 軒とあるが、駆け込み件数はどれくらいか。また、駆け込んだ場合どう対応するのか。
- (学校教育課長) 駆け込み事案が発生した場合、110 番の家から警察の生活安全課に連絡が入る。その際は警察から防犯メールが配信されるが、これまでそのような案件はない。
- (野田委員) (P42) トップアーティスト招へい事業は、事業内容の見直しを含め検討とある。私はぜひ続けてほしいと思っている。
- (石川教育長) (P33) 出前講座は、件数だけ見ると右肩下がりになっている。310 件が多いということであれば A でよいし、減っていることを見れば B と思う。確認いただきたい。
- (P38) スポーツ施策推進事業は、昨年から障害者スポーツにも取り組んでおり、成果に追記してもよいのではないか。
- (P39) いずれの事業も鑑賞者数が入っている。昨年と比較するか、新たな指標で評価してほしい。
- (P40) 文化スポーツ顕彰事業は、評価の難しい部分はあるが、何をもって A とするかを考えてほしい。
- (P41) 文化財保護事業は、成果に八浜のだんじりが県指定文化財になったことを追記して A でよいと思う。

6. その他

(1) 市立高校の今後について

(教育総務課長) 資料により説明。

(就学前教育課長) 資料により説明。


(2) 令和元年 10 月 / 11 月 月間行事予定について

(教育総務課長) 資料により説明。

次回、教育委員会は令和元年 10 月 24 日 (木) 15:30 から第 1 委員会室で開催するので参集願います。以上で、第 14 回教育委員会を閉会します。

議事録調整者

書記

山内 祐樹 

会議録署名委員

教育長

石川 雅史 

〃

教育長職務代理者

野田 洋二 